

LCV-FM トワイライト交差点 環境コーナー
テーマ【「エコ」を考える】

一般社団法人長野県環境保全協会（齊藤）

1. 「信州エコ大賞」とは？

「信州エコ大賞」は、（一社）長野県環境保全協会が、協会設立以来、長野県内に於いて環境保全に貢献し実績顕著な個人、団体、企業に毎年贈っている表彰です。

学識経験者等で構成する審査委員会においては、取組姿勢、継続性、独自性、社会貢献度、環境保全効果や他への影響の広がりについて審査の上、候補を選定します。気候変動対策や生物多様性対策への取組や地域との連携も審査ポイントです。

2. 今年の「信州エコ大賞」は？

今年の「大賞」は、「富士見町アツモリソウ再生会議」「松代オオムラサキの里」飯島町の「ミヤマシジミ里の会」の3団体が受賞されました。偶然ですが、3団体とも野生の動物・植物の保護を中心に活動する団体で、3団体共、熱心にそして地道に取り組まれて成果に繋げてきていることが評価されました。

3. 「エコ大賞」の「エコ」とは？

「環境保全」を英語に直訳すると「environmental conservation」で「エコ」の言葉は出てきません。

環境関係で使う「エコ」には、「エコノミー (Economy)」と「エコロジー (Ecology)」の二つの意味があると言われ、この「エコ」はギリシャ語で家という意味の「オイコス」で、同じ語源です。

○「エコノミー (Economy)」は、直訳すると「経済」で、経済性、節約、効率性を意味する言葉です。省エネや省資源の意味合いです。

○「エコロジー (Ecology)」は、直訳すると「生態学」で、自然環境と生物の相互作用を研究する科学用語です。自然との共生の意味合いですね。

4. 「エコノミー」より「エコロジー」のほうが環境イメージには合う？

環境保全には、少エネ等「エコノミー」の観点は大切ですが、「エコロジー」の観点はより大切で、私共環境保全協会が資料提供しているテレビ番組の題名は「エコロジー最前線」としています。

5. 「エコロジー」は何を研究する学問？

「エコロジー」つまり「生態学」とは、「生物とその環境との関係を科学的に研究する学問分野、またはその概念」です。

種内や種間の関係（捕食、共生、競争など）、物質循環やエネルギーの流れ

など、生態系の構造と機能を扱う「環境問題や環境の仕組みを理解するための科学的基盤」で、環境保全活動や環境政策の理論的な根拠になっています。

6. 「エコロジー (=生態学)」で研究する「生態系」とは？

「生態系」とは、食物連鎖など生物間の相互関係だけでなく、生物と大気、水、土壌などの中での無機的环境との相互関係を、総合的に捉えています。生態系を構成する要素は以下の通りです。

○生産者：光合成によって自ら有機物を作り出す生物（主に植物）です。生態系の基盤となります。

○消費者：生産者が作った有機物を直接的または間接的に食べる生物（動物など）です。

○分解者：消費者の排泄物や死骸などの有機物を分解し、無機物に戻す生物（微生物や菌類など）です。

生態系は、広大な森林から小さな池、さらには地球全体まで、様々な規模で存在します。これらの要素が相互に作用し、物質循環やエネルギーの流れを通じてバランスを保っています。

科学的な研究の世界ですが、その世界は神秘的でもあります。

7. 「エコロジー」は神秘的。「エコ」の意味は深い…

みんな繋がっている生命「いのち」の不思議ですね。人間が生態系を壊している…人類は今も戦争で人が人を殺し環境を破壊している…ことに自戒の念を持ちますが、全ての生物が「生きる」ための循環と調和のなかで存在していることに尊さを感じます。

例えば「トトロ」等、ジブリ作品の多くには「生きる」という共通のテーマが流れています。

○「天空の城ラピュタ」で、シータはムスカに、「(人は) 土から離れては生きられないのよ」と言います。

○「もののけ姫」で、アシタカはシシ神を失った森で生きていくサンに、「共に生きよう」と言います。

○「風の谷のナウシカ」の原作マンガでのナウシカの最後の言葉は「さあみんな、出発しましょう どんなに苦しくとも、生きねば…」です。

8. どんなに大変でも、環境を大切に、生きていきたい…

それは「エコ」で繋がる私たちみんなの願いです。

以上